

駒工高同窓会が2人激励 応援横断幕などを贈る

駒工同窓会の武田さん(左)から激励金を受け取る向山さん(中)と小山田さん



マイコンカーラリーー全国大会出場

駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)同窓会は12日、ジャパンマイコンカーラリー2025全国大会(来年1月11、12日、岐阜県可児市)のアドバンスト(上級クラス)に出場する、同校ロボット研究製作部マイコンカーラリー班・班長の小山田結人さん(17)と情報技術科3年、伊那市と向山晴さん(17)と機械科3年、同市に、激励金1万円と応援の横断幕2枚を贈った。同部生徒の全国大会出場は16大会連続。滝澤英喜同窓会長に代わって同校を訪れた会計の武田忠さん(55)は「駒ヶ根市福岡」は「普段の実力を発揮して悔いのない大会にして」と激励。2人は「部の目標である3位以上を目指して

頑張りたい」と健闘を誓った。マイコンカーラリーは、クランクやS字カーブ、坂道などが設けられた1周約50〜70分のコースにマイクロコンピュータを搭載した車体を自律制御で走らせて速さを競う。11月23、24日に新潟県三条市で開かれた北信越大会で向山さんが2位、小山田さんが5位に入り、全国大会の出場権を獲得した。

2人は大会当日に発表されるコースに対応できるよう、校内に作った模擬コースで試走を重ねているほか、タイヤを変えたりギア比を調整したりして自作マシンの改良を進めている。

全国大会で過去3人の優勝者を輩出し、昨年も1人が準優勝の好成績を残している同校。先輩たちの背中を追う2人も「昨年に比べればマシンも速くなっている。大会までに調整して成果を出したい」(小山田さん)「本番に向けてしっかり調整をして上位を目指したい」(向山さん)と意気込んでいる。(川上敏明)

長野日報

Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

12月14日(土)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000代

©長野日報社2024